

東京国立近代美術館 大人も子どもも、昼も夜も楽しめる夏のイベント

MOMAT サマーフェス

東京国立近代美術館(MOMAT,千代田区)では7月から9月にかけて、大人も子どもも、昼も夜も楽しめる夏のイベント「MOMAT サマーフェス」を開催します。

展覧会を中心にイベントやワークショップを開催するほか、**金曜・土曜はナイトミュージアムとして21時まで開館し、お得な夜の割引料金**で観覧いただけます。芝生の緑が心地よいガーデン・カフェも夜はビアバーとして楽しめます。

所蔵作品展「MOMAT コレクション」では、参加型プログラムの**対話による所蔵品ガイドを毎日実施**するほか、毎週金曜夜には「**フライデー・ナイトトーク**」、また**夏休みにあわせた子ども向けプログラム**も実施します。

週末の仕事帰りや夏休みに家族でお越しいただくほか、訪日外国人観光客の皆様にもおすすめです。

この夏は是非MOMATで新しい美術館の楽しみ方を体験してください。

見どころ

■ 期間・会場

2018年7月20日(金)～9月17日(月・祝) 東京国立近代美術館

■ 展覧会

○企画展「ゴードン・マッタ=クラーク展」 6月19日(火)～9月17日(月・祝) 1階

1970年代ニューヨークを中心に活躍したゴードン・マッタ=クラークのアジア初となる回顧展。

没後40年を経た現在もなお、アート、建築、ストリートカルチャー、食など多くの分野から絶大な人気を集める彼の活動を紹介。

○所蔵作品展「MOMAT コレクション」 6月5日(火)～9月24日(月・祝) 4-2階

13,000点を超えるコレクションから約200点を厳選。明治から現代まで日本美術の流れをたどることができる国内唯一の展示。

■ 金曜・土曜のナイトミュージアム&夏のガーデン・ビアバー

毎週金曜・土曜は夜9時まで開館し、**お得な夜の割引料金**で観覧いただけます。前庭にはキッチンカーが登場し、金曜・土曜の夕方からは芝生の緑が気持ちよいガーデン・ビアバーとしてお楽しみいただけます。

■ 夏だけの「フライデー・ナイトトーク」

ガイドスタッフと参加者の皆さんがトークしながら作品を鑑賞する当館の人気プログラム「所蔵品ガイド」を、夏の期間限定で毎週金曜夜にも「フライデー・ナイトトーク」として実施します。当館こだわりのギャラリーチェアを使ったゆったりとしたスタイルで、ご参加いただけます。ナイトタイムの過ごし方が注目される中、仕事帰りに美術館で新しいアート体験をお楽しみください。

■ “観る”だけではなく“体験・参加する”イベントを続々実施

「ゴードン・マッタ=クラーク展」では会場内写真撮影OK(一部除く)、ワークショップコーナーやInstagramイベント「みつけよう!あなたのまちのGMC」など、体験・参加できる各種イベントのほか、子ども向けには「夏休み!こども美術館」(要事前申込み)も実施。“観るだけ”ではない展覧会で、ゴードン・マッタ=クラークの世界を体感ください。



1

2



フライデー・ナイトトーク

3



夏の子ども向けイベント

4



芝生が心地よい夏のガーデン・ビアバー

詳細

※イベント等の詳細は当館公式ホームページ (<http://www.momat.go.jp>) をご覧ください。

■「MOMAT サマーフェス」期間中の展覧会

①「ゴードン・マッタ=クラーク展」

6月19日(火)～9月17日(月・祝) 1階

1970年代ニューヨークを中心に活躍したゴードン・マッタ=クラークのアジア初となる回顧展。

☆観覧料：一般 1,200円、大学生 800円

※入館当日に限り、同時開催の所蔵作品展「MOMAT コレクション」、コレクションを中心とした小企画「瀧口修造と彼が見つめた作家たち」もご覧いただけます。

②所蔵作品展「MOMAT コレクション」

6月5日(火)～9月24日(月・祝) 4-2階

13,000点を超えるコレクションから約200点を厳選し、明治から現代まで日本美術の流れをたどることができる国内唯一の展示。サマーフェス期間中には新海竹太郎《ゆあみ》、新たに国の重要文化財に指定されることになった和田三造《南風》のほか、この季節にちなんだ川端龍子《草炎》(7/31～)、小林古径《唐蜀黍》(7/31～)など、選りすぐりの名品を展示。作品の時代背景にも思いを馳せながら小さな時間旅行をお楽しみください。

③コレクションを中心とした小企画「瀧口修造と彼が見つめた作家たち」

6月19日(火)～9月24日(月・祝) 2階

当館コレクションより、瀧口自身の作品13点に加え、「もの」(物質/物体/オブジェ)をキーワードに彼が関心を寄せた作家たちの作品もあわせてご紹介。

〈②・③共通〉

☆観覧料：一般 500円、大学生 250円

☆5時から割引：金曜・土曜の17時以降のみ、一般 300円、大学生 150円(※6/19～9/17 限定で大学生無料)

■ 金曜・土曜のナイトミュージアム&夏のガーデンビアバー

毎週金曜・土曜は夜9時まで開館し、お得な夜の割引料金(上記参照)で観覧いただけます。

レストラン「ラー・エ・ミクニ」のキッチンカーによるガーデンカフェが前庭にオープン。金曜・土曜のナイトミュージアムではビアバーとしてもおすすめです。ビール、ワイン等のドリンクとフードを、皇居が見渡せて芝生の緑が気持ちよい前庭でお楽しみください。

■「ゴードン・マッタ=クラーク展」 イベント

※最新情報は展覧会公式ホームページ(<http://www.momat.go.jp/am/exhibition/gmc/>)をご覧ください

①会場内フォトスポット

本展覧会は会場撮影が可能(一部を除く)。見どころは「プレイグラウンド(公園)」をコンセプトにした、楽しくにぎやかな会場。ゴードン・マッタ=クラークが“切った”建物の模型なども展示されます。是非お気に入りのマイ・フォトスポットを見つけて、家族や友人とシェアしてください。

②ワークショップコーナー

展覧会を観た後は実際に手を動かしてゴードンの世界観を体験。美術館エントランスでは、「MOMAT サマーフェス」期間中ゴードン・マッタ=クラークのグラフィティの作品をモチーフに、自由にカラーリング(ぬり絵)ができるワークコーナーを設置します。子どもはもちろん、大人の方もご参加いただけます。※申込不要、参加無料

③Instagram イベント「みつけよう!あなたのまちのGMC」

展覧会期間中(～9/17)、お客様と美術館とのインタラクティブな試みとして、身近な“ゴードンの風景”を投稿していただく企画、Instagram イベント「みつけよう!あなたのまちのGMC」を実施します。ゴードン・マッタ=クラークは美術館という空間から出て、街を舞台に活動しました。展覧会を観てから街に出ると、マッタ=クラークが見た景色に近い風景が見つかるかもしれません。

本展公式アカウント「exhibition_gms2018」をフォローして、ハッシュタグ「#あなたのまちのGMC」が付いた投稿の中から展覧会担当者がセレクトしたものを美術館内でご紹介します。

※投稿方法の詳細はホームページをご覧ください

④夏休み!こども美術館

小学1～4年生を対象とした夏の特別プログラム。展示室でのギャラリートークや工作など盛りだくさんの内容です。

8月18日(土)・19日(日) 各日10時30分～12時30分・14時～16時、要事前申込、抽選制、参加無料

※申し込み方法はホームページをご覧ください

⑤上映会、ギャラリートーク、シンポジウム

「ゴードン・マッタークラーク展」関連映像作品上映会のほか、展覧会担当者と多彩なゲストスピーカーによるイベントを開催します。
※詳細は決まり次第、公式HPなどでお知らせします。

■ 所蔵作品展「MOMAT コレクション」 イベント

①毎日の所蔵品ガイドと、夏だけのスペシャル企画「フライデー・ナイトトーク」

当館「所蔵品ガイド」の最大の特徴は、作品解説を聞く一方的なものではなく、ガイドスタッフや参加者の皆さまとトークしながら、作品を自由に感じ、想像をめぐらせ、それを言葉にして語り合うところです。まるで作品の謎解きをするかのような鑑賞体験ができる人気プログラムで、毎日14時から、約3作品を鑑賞します。毎回取り上げる作品も違うため、リピーター続出です。

さらに「MOMAT サマーフェス」期間限定で、毎週金曜の夜、「フライデー・ナイトトーク」を実施します。昨年大好評だったこのプログラムは、皆でトークをしながら1作品をじっくり鑑賞するスタイルで、MoMAなど世界のミュージアムでも利用されているギャラリートークを使うのもこだわりのポイントです。仕事帰りにもプレミアムフライデーにも気軽に参加でき、文字通り「腰を据えて」鑑賞を深める贅沢なひとときをお過ごしいただけます。働き方やナイトタイムの過ごし方に注目が集まる中、仕事帰りに美術館を気軽に訪れ、「フライデー・ナイトトーク」で新しいアート体験をお楽しみください。



☆所蔵品ガイド：毎日14時～15時 1階エントランスに集合、参加無料、要観覧券。

☆フライデー・ナイトトーク：7月20日から9月17日までの毎週金曜 19時～19時25分/19時30分～19時55分
集合場所は1階エントランスでご確認ください。参加無料、要観覧券。

5

②子ども向けセルフガイド

子ども向けセルフガイド（書きこみ式鑑賞シート）を無料で進呈します。4歳から8歳はセルフガイドプッチ、小中学生にはセルフガイド。

③キュレーター・トーク

当館学芸員が作品解説を行うトークイベント。専門性をいかした解説にご期待ください。
申込不要、無料、要観覧券。

7月22日（日）11時～12時 中村麗子（当館主任研究員）

7月27日（金）、8月10日（金）、24日（金）、9月7日（金）、21日（金）

各回18時30分～19時 大谷省吾（当館美術課長）

*瀧口修造に関する連続ミニレクチャー

開催概要

○会場：東京国立近代美術館（東京都千代田区北の丸公園3-1）

○休館日：月曜日（ただし9月17日は開館）

○開館時間：10時～17時、企画展会期中（6月19日～9月17日）の金・土曜は21時まで（入館は閉館30分前まで）

○アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」1b出口より徒歩3分

東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下駅」より徒歩約15分

○お問い合わせ：03-5777-8600（ハローダイヤル） <http://www.momat.go.jp>（ホームページ）



6

報道関係のお問い合わせ先

東京国立近代美術館 広報室 三輪、紀太(きだ)、有馬

TEL:03-3214-2564 FAX:03-3214-2576 E-mail:pr@momat.go.jp